

「消防」を学んだ夏休み

福島公民館は8月25日、公民館講座の一環として消防署福島出張所の署員を招き、消防への関心を持ってもらおうと、夏休み中の小学生を対象とした防火講座を開きました。

この日参加した福島養源小学校の児童たちは、消防署の役割や救助時に使用するロープの結び方などを学びました。講座の最後に行われた工作では、廃棄する予定であった消防ホースに留め具をつけて「火の用心」と書かれたペン入れを作成し、防火意識を高めました。



大自然の中で木工体験！

「森林・木工体験教室」が8月22日、今福町四季の森石倉で開催されました。

このイベントは、市が推奨する「木育」の一環として開催。およそ100人の親子が、森林が持つ役割や木々の特徴などを実物やクイズを交えて学び、木材で本棚等を製作する木工体験をしました。

そのほか、松浦商工会議所青年部は、木製のアジフライ monumento やマイ箸作り、長崎北部森林組合は、当日会場で製作した木製椅子のプレゼントを行うなど、夏休み期間中の思い出に残るイベントとなりました。



あこう旗争奪ジュニアバレーボール大会

あこう旗争奪ジュニアバレーボール大会が9月12日、鷹島スポーツ・文化交流センターで行われました。この大会は、鷹島町・住吉神社にある県天然記念物「あこうの樹」のようにたくましく育ち、スポーツを通じて明るく健全な精神を養うことを目的に、鷹島スポーツ少年育成会が毎年開催しています。

この日は、6チーム、52名が参加し大いに盛り上がりました。上位結果は下記のとおりです。

【優勝】福島クラブ 【準優勝】新星バレーボールクラブ
【3位】青葉バレーボールクラブ



みんなでブルーベリー狩り！

須藤正文さん（志佐・西山）は、毎年夏、自身が管理するブルーベリー畑を市内の保育園等に無料開放しています。松浦幼稚園の園児たちは9月1日に訪れ、収穫を体験しました。

大きな畑を駆け回る園児たちに向けて須藤さんは、「たくさん持って帰って、食べてほしい。年長さんは来年から小学校に行くが、また遊びに来てほしい」と話しました。

手いっぱいブルーベリーを抱え、満面の笑みを浮かべていました。



みんなで育てよう！人権の花

「人権の花運動」は、おもに小学生を対象とした人権啓発運動で、学校に配布された花の種子などを、子どもたちがお互いに協力しながら育てることにより、優しさと思いやりの心を育み、命の大切さと人権尊重についての理解を深めることを目的に全国各地で実施されています。

本市では、平戸人権擁護委員協議会松浦市委員（奥野幸子副会長他6人）の協力のもと、法務省の委託事業（地域人権啓発活動活性化事業）を活用し、毎年市内小学校2校へ人権の花であるヒマワリの種を配り、「人権の花運動」を実施しています。

今年は、調川小学校と御厨小学校で「ひまわりの花」の栽培に取り組んでおり、両校の子どもたちと本市の人権擁護委員は、花の手入れや水やり、花壇の草取りなどを行い、ひまわりの成長を見守りました。



▲調川小学校



▲御厨小学校



▲大きく育ったひまわり

松浦市出身の球児たちが大活躍

松浦市出身の高校球児たちが7月11日から長崎県営野球場（ビッグNスタジアム）ほかで開催された長崎県高等学校野球大会に出場し、熱戦を繰り広げました。

この大会は、長崎県高校野球連盟が全国高校野球選手権長崎大会の代替えとして開催したもので、県内から54校が出場しました。

8月2日に行われた決勝戦では、大崎高校と鹿町工業高校が対戦。

優勝した大崎高校からは山口留稀哉君（今福中出身）、鹿町工業高校からは主将を務めた山下主翔君（志佐中出身）をはじめ10人の松浦市出身者が出場しました。

山口君と山下君の2人は、小学生の頃から松浦少年野球クラブでバッテリーを組むなど共にプレーし、それぞれ甲子園出場を目指していました。

山口君は「3年間の成果が出た。子どもの頃からの仲間と決勝で戦うことができ嬉しかった」と話し、山下君は「勝ち上がるにつれて、大崎高校と当たるのではと意識した。負けたが学校初の準優勝で悔いはない」と話しました。

そのほかの本市出身鹿町工業高校出場選手（ ）内は出身中学校
前田大輔君（福島）、濱本隼輔君（福島）、永田悠紘君（福島）、
松本 陸君（御厨）、浦田一生君（志佐）、久家伸一郎君（御厨）、
板垣勇輝君（調川）、藤田天都君（御厨）、西 翔生君（福島）



▲山口留稀哉君（左）と山下主翔君